

ふくしま技術情報不正流出防止ネットワーク

Fukushima Prevention Network for Illegal Leakage of Technological Information

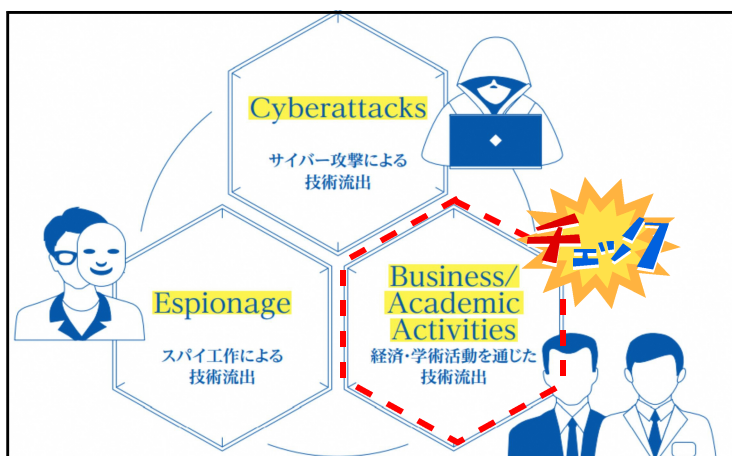
技術流出の防止に向けて

技術流出のリスク

外国から企業等の技術が狙われるリスクのパターンは、下図のように大きく3つに分類することができます。

しかし・・・

必ずしも手口が
「違法行為」とは
限りません！！



3つのパターンのうち、

「経済活動・学術活動を通じた技術流出」

は、経営上、誰しもが直面する可能性があります。

経済活動のグローバル化等が進展する中で、「合併」や「企業の買収」「共同研究」など、一般的に行われる合法的な経済活動についても、それを隠れ蓑にして情報が狙われるリスクがあります。



意図しない技術流出が生じるケース

日常的な経済活動の様々な場面で、企業の意図せざる技術流出が生じかねません。代表的な例としては、

- ✓生産拠点の海外進出に伴う技術流出
- ✓取引先との擦り合わせ
- ✓システム管理（サイバー攻撃）
- ✓人を通じた技術流出
- ✓共同研究
- ✓資金調達

などのケースがあげられ、広く注意が必要です。

（出典：経済産業省発行「技術流出対策ガイドンス 第1版」）



次号からは、「意図しない技術流出が生じるケース」について、ケースごとに詳しく掘り下げます。技術流出防止に努めましょう！

